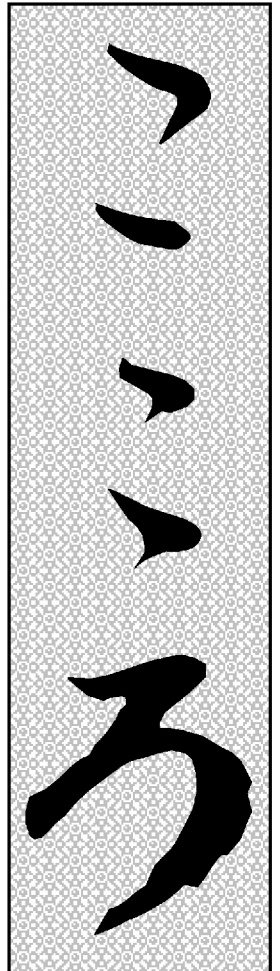


未来に羽ばたく 新たな洋大



会長あいさつ



まず、東日本大震災は日本の観測史上、最大のM9.0を記録し、大規模な地震と過去に例のない大津波によって、大変多くの方が被災されました。その被害の甚大さに言葉がありません。被災された方々へ心からお見舞い申し上げます。早い復旧復興を願います。お亡くなりになりました。お祈り申し上げます。

義援金のお願い

被災された方々の復興支援として、義援金のお願いをいたします。集めさせて頂きました義援金は全額「日本赤十字社兵庫県支部」に届けさせていただきます。

(1) 募集期間
平成23年4月5日～平成23年8月31日

(2) 振込み先
三井住友銀行 神戸営業部 普通
店番500口座番号9526019
「兵庫県青年洋上大学同窓会
東北地方太平洋沖地震義援金」

* 店番・口座番号が正しければ、「兵庫県青年洋上大学同窓会 義援金」でも届きます。

兵庫県は、阪神淡路大震災を始めとする、災害時にたくさんの支援を頂いております。兵庫県のメンバーとして、みなさまのご協力をお願いいたします。

阪神淡路大震災では、全国から温かいご支援を頂き、私たちは復興を成し遂げ、活力ある兵庫を進めてまいりました。今度は、被災された方々に私たちが何をできるか考えていかなければならないのではないのでしょうか。今年、同窓会をとりまく環境は大きく変わってまいりました。40年間実施されてきた兵庫県青年洋上大学に代わり、新しい青年リーダー育成事業がはじまります。これらの方々に新しい会員として受け入れ、同窓会員の自己実現と共生をめざし、同窓会の更なる発展のため、懸命に努力してまいります。

たいと存じますので、皆さまの変わらぬ御指導、ご協力をいただきませうお願い申し上げます。
(S2淡路 藤本 佳幸)



発行所
兵庫県青年洋上大学同窓会
〒650-0011
神戸市中央区下山手通4-16-3
兵庫県県民会館7F
TEL&FAX:078(891)7419
毎週火曜日19:00～21:00
<http://hyogo-yodai.net/>
(6月頃開設予定)
E-mail:info@hyogo-yodai.net
発行人:藤本住幸
編集人:赤松浩一

縁々えにし

未曾有の『東日本大震災』の大発生被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げます。とともに、一日でも早い復旧と皆様のご健康を心よりお祈り申しあげます。

さて、このような時、ボランティアという言葉がクローズアップされます。洋上大学の参加者は、事前研修の段階から、「・・・参加の貴重な体験等を、地域等へ還元して下さい。」と聞いたことを覚えていませんか・・・。「・・・してあげる。」・・・してやっていると、地域、団体等において楽しく活動に参加する、そんなボランティア活動を、今一度自分の「こころ」に聞きたいと思う。(H5 大家 重明)



南淡ジュニアウォーターキャンプ2010

昨年度も実施して好評であった海でのキャンプ事業について、平成22年度も8月13日（金）～8月15日（日）に南あわじ市のB&G海洋センターで実施した。初日・13日9時半頃から子どもたちが集合場所のJR舞子駅に集まってくる。スタッフも子ども達も久しぶりでやや緊張

気味。バスで淡路島へ出発。車内はバスレクで盛り上がった。現地地いよいよ神戸・明石組と淡路組が合流して総勢51名（参加者21名・スタッフのべ30名）となる。早速、海洋レクリエーションへ。海へ入る前に全員ライフジャケットを着用し、水辺での安全講座を受けた。カヌーやロー

ボートは子ども達には少し難しそうだったが、飛び込みやバナナボートでは水に落ちても大喜びだった。野外炊飯は普段はなかなか包丁を持つことのない子ども達も挑戦。バーベキューを楽しんだ。2泊3日は短かったかもしれないが、届いたアンケートからは「友達がたくさんできた」「仲良くなった友達と協力して活動できてよかった」「釣りやカヌー



みんなで行う清掃活動。豊かな海を守るプログラムも・・・



海の活動の1つ パナナボート。



貝殻を使った思い出のコルクボード

が面白かった」など様々な声があり、子ども達にとってよい経験、思い出になってくれたと思う。スタッフにとっても事業の企画から関わり、子ども達が成長する様子を見ることは、スタッフ自身にとっても学ぶことが多かった。同窓会としては次年度以降も、青少年の育成に関わる事業に取り組んでいきたいと思っています。今後とも同窓会の皆さんのご支援よろしくお願いたします。（H26 阪神 井上清吉）

ぼくらは雪山探検隊 冬キャンプ開催!!



平成23年2月11日（金）～13日（日）の2泊3日、「ぼくらは雪山探検隊」と題した雪中キャンプを開催しました。

会場は新温泉町の兵庫県立但馬牧場公園で、参加家族26人、5人の計31人は雄大なパノラマとパウダースノーを満喫しました。

今回の雪中キャンプでは、参加者を「ぼくらは雪山探検隊員・候補生（以下、候補生）」という位置付けにし、実施三



みんなで鬼退治だ!!

週間前から電子メールで、「地球規模で悪さをする鬼結社を退治する。」「鬼結社を退治するため雪中キャンプで訓練する」などと振れ込み、90年代半ばに当会が得意としていた「レクリエーション・キャンプ」の雪上版をイメージして実施しました。

訓練は、①トーチカ（かまくら）製作訓練、②食料（おしるこ）補給訓練、③雪中行軍（スキー、スノーボード、そり）訓練、④射撃・防衛

（公式雪合戦）訓練、を実施しました。参加者はどの訓練も真剣に、楽しそうに取り組んでいました。夕食・宿泊は公園内の施設「まさばの宿」「レストランふるさと」を利用しました。但馬牛のしゃぶしゃぶ、や、かにすき・焼きがに、など豪華な食事に舌鼓を打ちました。

参加者は、神戸市内在住者だけでなく、京都・大阪など他府県からの参加もありましたが、大きな怪我也無く、無事故で終了できました。

（K11神戸 春名伸泰）



公式雪合戦の様子

地区からのメッセージ

神戸地区

平成22年10月から神戸地区代表者を任命してあります。春名伸泰です。昨年12月18日に東灘区の御影公会堂でクリスマスパーティーセミナーを開催し31名の参加者で盛り上がりました。また同26日に第九シンフォニーセミナーを東大阪市市民会館で開催し参加者3名が第九を堪能しました。平成23年も



楽しいイベントを企画してきます。ご期待下さい。
(K11神戸 春名伸泰)



阪神地区

阪神地区では主にハイキングを主体とした活動を行っています。昨年の秋には、人気のある六甲縦走コースを一泊二日で歩くプランも実施しました。阪神地区にはハイキングに適した山が連なり、地域間交流も盛んです。このことからハイキングを通じて青少年が自然に親しみ、お互いの交流を深めることをコンセプトと



しています。ここ三年間で、ハイキングは毎年規模が大きくなり、今年度は兵庫県最高峰である氷ノ山登山にも挑戦します。詳細は、阪神地区便りをお封していただきますので是非ご覧ください。

東播磨地区

ださい。
(S3 山田篤志)

四季を楽しむ、日本の良い所の一つとして季節毎の味覚はそこでも最たるものではないでしょう。東播磨地区では加古川市で行われるツアーデーマーケットに参加して今年度も参加しました。今年度は模擬店を出店する形でも参加することになりました。出店にあたり、ありふれ



勿論完売、イベント後の打ち上げが盛り上がりまでもありません。今年も東播磨地区は出店する計画です。何をするかは内緒です、是非現場でお逢いしましょう。
(S2東播山 本能嗣)

西播磨地区

たフランフルトや唐揚げでは面白くない、そして季節は秋、季節を感じかつあまり無いものを提供したい。役員で話し合った結果、本物志向の東播磨地区は厳選素材徳島産なると金時を使用したさつまいもフライ、バナナアイスクリーム添えシロップ付に決まりました。スタッフは最新のH32回生を中心とする若々しいメンバーがPOP作りや売り子として活躍してくれ、既存メンバーと交流も出来ました。

西播磨地区では、毎月第2月曜日に、中播磨県民局に於いて月例会を行なっています。祝日の場合は、第3月曜日になります。毎年恒例で行なっていた中播磨青少年交流サロン主催の昔遊びフェスティバルが、平成二十二年度で終了となりました。地域の方達と交流できる素敵なイベントだったので、非常に残念ですが、また色々と調べて地域の方達

と交流できるイベントに、同窓会として参加していききたいと思いません。

しかしながら最近、数年前に比べ、人の集まりが余り良くなくて苦勞しています。その為に、懇話会などを開き人集めを、積極的にやりたいと思っています。また、自分で企画運営するイベントを、行なっていていきたいと考えています。

今考えてるのは、数年前に行なっていたスポーツイベントの復活。あるいは、一つの競技だけを行なうもの等です。とにかく、何をすることも人数が必要になってくるので、人集めをしつかりしていきたいと思いません。

(K21西播原健作)

丹波地区



1月の終わりに篠山市にある『こんだ薬師温泉ぬくもりの郷』に行つて来ました。源泉掛け流しの温泉で週代わりで『岩風呂』又は『陶板風呂』が楽しめます。私が行つた時は『岩風呂』でした。冷えが気になる方には特にオススメです。もう少しすれば桜が咲き始めて景色もいんですよ。丹波篠山ロインターより車で約20分まで到着します。大人七百円でお手頃に入れるお風呂、ぜひお試し下さい。(K21丹波渡辺郁子)

但馬地区

日本語教室
開催中のお知らせ
月曜〜金曜 夕方6時から7時半まで、場所はヘア二階オフィス養父にて 現在ベトナムの方が二名学びに来てます
(H25但馬 村上隆司)



淡路地区

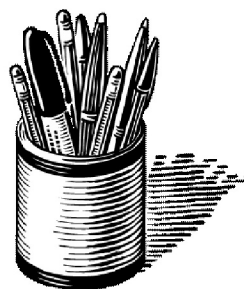
今年度の淡路地区は人とのつながり・地域のつながりを重視した1年でした。私たちは、会員の減少、活動資金がない、などの悩みをかかえながらも、地域に溶け込み活動を続けることができました。

今年度は、他団体と協力しながら色々な活動をしようという事で、夏にあつた本部主催の南淡ジュニアアウトタキャンピングにスタッフとして関わったり、秋には島内の国際交流協会が主催するハロウィンパーティー、クリスマスパーティーに参加したりしました。そうすることで、地域の人や地域に住む外国人と触れ合い、洋上大学淡路地区同窓会という団体を少しでも地域の方々に広



事務局からお知らせ

兵庫県青年洋上大学同窓会のホームページは、平成7年から開設し15年が過ぎました。21世紀を迎え10年が過ぎた、平成23年より今までの『兵庫県青年洋上大学同窓会ホームページ』を新たにリニューアルする事になり、装いも新たに、時代のニーズに合った情報提供や会員相互の交流のためのホームページとして再スタートをする運びとなりました。これからも会員のみなさまへの双方向サービスを中心に更新をしていく予定です。この今号の表題下に記載しておりますホームページアドレスにて、6月頃より運用してまいります。



めることができたのではないかと思っております。
(S3淡路 森かおり)



今後の洋大は…

兵庫県青年洋上大
学に変わる事業とし
て、公益財団法人
兵庫県青少年本部に
おいて「青年洋上大
学海外養成塾」の実
施が検討されていま
す。

この新しい事業は、
アジア近隣の姉妹・
友好提携州省等を航
空機を使用して訪問
し、現地青年との交
流をはじめとする多
様な体験活動を通し
て、将来の両国のパ

トナーシップを支え
る国際性を備えた青
年リーダーとしての
意識醸成を図るとの
もに、次代の兵庫県
を担う若い力、新し
い力を育成すること
を目指しています。
研修プログラムに
は訪問国青年との交
流や、奉仕活動など
が盛り込まれていま

す。また、参加青年
相互の結束や訪問国
について事前研修で
学び、派遣の成果を
地域での実践活動に
繋げる事後研修が計
画されています。

3月4日にふじ丸の船上パーティに参加してきました。
毎回見送りで乗っているの、船を日にするのはそれ程
感動はないのですが、船の食事は平成13年の兵庫25回
(兵庫洋大がふじ丸になった年)と平成14年の希望の船
以来でした。会場に約二百人の参加者が集まり賑やかな
中、フランス料理のコースをいただきましたが、やはり
ふじ丸の食事は大変美味しく、各メニューに花をあしらっ
たりして、目と舌で楽しむことができました。同席し
たOB同士の話にも花が咲きました。船内見学では洋大
時に利用した普通の4人部屋から、豪華なソファも有るデラツ
クスルームを見て、部屋の違い
に驚き。ラウンジやカードル
ムを見ては兵庫25回での楽し
たこと苦労したことが蘇りま
した。

ふじ丸が現役のうちには動
にもう一度乗りたいなと思
がら船を後にしました。
(K17東播 赤松 浩二)



船上パーティ開催



平成22年度役員 (平成23年3月31日現在)

会長	藤本 佳幸 (S2)
副会長	松下 健一郎 (S2)
副会長	木村 成明 (H19)
会計長	中川 たみ子 (H18)
事務局長	赤松 浩一 (K17)
監事	嶋 千世 (H19)
	青木 浩之 (兵庫県青少年本部)

地区代表者

神戸地区	春名 伸泰 (K11)
阪神地区	山田 篤志 (S3)
東播地区	丸尾 倫一 (S2)
西播地区	原 健作 (K21)
丹波地区	井本 好美 (S2)
但馬地区	村上 隆司 (H25)
淡路地区	森 かおり (S3)

皆様のボランティア活動の状況と、新たな同窓会へのご意見を求めているアンケートをお願ひする際に、返信して下さった方へ感謝をこめて、同窓会より抽選で粗品をお送りする旨ご案内させていたいただきました。その抽選を平成23年3月4日(金)に、ふじ丸船上夕食会が開催されました。実際に実施いたしました。

また、アンケートの集計は現在進行中ですので、次号の新聞「こころ」に掲載予定としております。
(H19神戸 木村成明)

アンケートご回答
ありがとうございました